令和6年(2024)年度年間授業計画表						
学年	2年	学科	食料環境科	必選	選択:食品系	
教科	農業	科目	食品流通	単位	2単位	
使用教材	食品流通(実教出版)					
学習目標	農産物や農産物を原料とする食品の流通に必要な知識と技術を習得させ、食品の特性と流通構造を理解させるとともに、食品の流通と管理の合理化を図る能力と態度を育てる。					
単元と内容						
1 学期	第1章 現代生活と食品流通 ①流通の始まりと発展 ②流通の働き ③食品流通の役割 第2章 経済活動と食料 ①経済発展と食料消費 ②世界の食糧事情 ③日本の食生活と食糧需要 ④私たちをとりまくフードシステム		1)食品・流通への興味関心を高める。 2)食品流通における安定性、安全性、効率性を理解する。 3)日本の食糧消費の特徴を知る。			
	2 学期	第3章 食品流通のしくみと働き ①食品流通の特徴 ②食品流通のしくみ ③価格形成と流通経費 第4章 おもな食品の流通 ①米の流通 ②麦の流通 ③青果物の流通 ④畜産物の流通 ⑤加工食品の流通		1)循環型社会という概念を知る。 2)食品ごとの流通経路の在り方を理解する。 3)価格決定のしくみを理解する。 4)各種農産物出荷組織の実態を理解する。		
		3 学期	第5章 食品品質と規格 ①食品の品質と安全性 ②品質と品質保証 ③規格、表示と検査 ④食品流通と包装 ⑤食品の品質と品質保持		1)食品の質と安全性を保つ法的システムについて理解する。 2)食品の包装材の環境の関係を学ぶ。 3)食料生産と食料輸入の動向を理解する。	
評 価						
評価の観点			評価の趣旨			
I	知識・技能	食品流通に関する基礎的な知識を身に付け、理解を深めることができる。				
II	思考・判断・表現	食品流通に関する知識思考を深め的確に判断することができる。				
III	主体的に学習に取り組む態度	食品流通において、様々な資料や情報を収集し、適切に実施することができる。				
評価方法	観点 I		観点 II		年間時数	
	行動の観察 ノートの点検		行動の観察 ノートの点検		予定	
					64 時間	
					実施	
置賜農業育てる能力		①健康 ②自己肯定感 ③忍耐力 ④主体性 ⑤生命 ⑥他者理解 ⑦協調性 ⑧誠実 ⑨生きる力 ⑩知識技能 ⑪地域づくり ⑫実践奉仕 ⑬社会貢献				